

留学報告書 II (2024年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢高等部5年生
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2024年 9月から 2025年 7月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

留学に行く前は、とにかく自分に変化や成長を期待していました。全く違う環境に行くことで、自分の視点や価値観の変化が起きることを知っていたので、どのような変化が起きるかが楽しみでした。また、もちろん英語力の向上を期待していました。心配していたことも英語力で、友達ができるか、新しい環境に馴染めるか心配でした。実際行ったら、最初は苦労しましたが、最終的には馴染むことができました。また、成長したところといえば、自分でやりたいことや、聞きたいことがあれば、直接連絡したり、聞いたりできるようになった事です。特にイギリスではメールをよく使うので、日本の時に感じていた苦手意識がなくなり、メールを書けるようになりました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

課外活動は大きく分けて、スポーツ、木曜日の活動の二つがありました。スポーツは各学期ごとに変更できて、毎学期、選べる内容が変わります。活動は放課後の時間に行えて、月曜日、水曜日、金曜日、土曜日の放課後にできます。水曜日と土曜日は必ずスポーツをする必要があります。学期の始めに、Socsというウェブサイトで自分のやりたいスポーツを選んで申し込んでいました。

スポーツは、フェンシング、ファイブス、スカッシュ、レックローイングをやりました。1学期はフェンシングとファイブス、2学期はフェンシングとスカッシュ、3学期はレックローイングをやりました。ファイブス、スカッシュ、レックローイングはどれもイギリス独特のスポーツでした。レックローイングはローイングよりも練習が少なく、初心者も歓迎の日程と内容となっていました。夏は特に天気がいいので人気で、私と同じく初心者でやる人が多かったです。

木曜日の活動は、ボランティアやアクティビティを14:00から16:30までやっています。全員選択する必要があります。基本的に一年を通して同じ活動内容を行います。私はCadet Combined Force(CCF)という学生向けの軍隊訓練を行っていました。軍事訓練というものの、実際のところ、そこまで厳しくはありませんでした。目的はリーダーシップスキル、責任感やチームワークの向上などで、毎回違ったアクティビティがあったので飽きることなく楽しめました。普段から部隊攻撃訓練や、パトロール訓練などをしたり、テストに合格すると、実弾で射撃訓練をしたりすることもできました。とはいえ、イギリスでもCCFに所属していると友達などに不思議な人扱いされることは多々ありました。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

休暇中は寮が閉鎖して、学校の外で過ごす必要がありました。私はガーディアンサービスを提供する会社と契約し、基本的には同じホストマザーの家に、私と同じ学年の新入生で、中国から留学している女の子と一緒に滞在していました。

ホストマザーの家はShrewsburyの街から徒歩15分くらいの場所にあり、十分な広さの部屋を1人一部屋与えられていて、細長い庭がありました。部屋にトイレとシャワーがついており、勉強する机と椅子もありました。ホストマザーは70代のアメリカ人のおばあちゃんで、教師をしていたため、勉強で行き詰まったところがあれば質問していました。毎年海外から来る生徒をホストしていて、白米を用意してくれたり、料理やお菓子を作るのが得意で、おいしいご飯を作ってくれました。

また、ホストマザーとは別に友達の家にも宿泊することもありました。私は、小学校の時の交換留学プログラムで知り合った友達がロンドン、ウィンブルドンに住んでいたため、その子家によくお邪魔させてもらっていました。他にも、リバプール、ウィラルにある学校の友達の家にも2泊3日で宿泊させていただきました。

留学は1年間帰国せずに終わることが多いと思いますが、私の場合は冬休み中に一時帰国をしました。いつも滞在させていただいていたホストマザーもアメリカに里帰りしていたのと、友達の女の子も中国に帰国していたので、クリスマスは日本で過ごすという形になりました。個人的には一旦帰国したことによって体制を整え直すことができたので良かったと思っています。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

私はMath、Biology、Physical Education (PE)とExtended Project Qualification (EPQ)をとっていました。基本的にどの科目も、パソコンを主流とした授業で、Teamsを使っていました。課題もTeamsで出されたり、特定のウェブサイトから課題が出され、その内容を課題としてTeamsで配信されていました。Google Classroomとほぼ同じ仕組みですが、Microsoftが主流といった形でした。

MathはFurther Mathではなく、Single Mathだったので、比較的内容が簡単で、授業を聞いて、しっかりとオンラインで出される課題をこなしていれば、テストなどは問題ありませんでした。2人の先生がいて、1人は代数関数、もう1人は統計と力学を教えていました。いくつかセットがあり、いい成績をとっていると2学期からセット1に移動することができます。Dr Frostというウェブサイトがあり、そのサイトで毎回課題が出されていました。電卓を使用可能で、授業内で電卓の使い方も学びました。

Biologyにも2人の先生がいます。BiochemistryとBiologyで単元がざっくり二つのカテゴリーに分けられていて、それぞれの先生が授業をしてくれました。授業スタイルは先生によって違い、1人は完全にTeamsにページを用意して、先生のパワーポイントにそって自分でデータ上にノートを作っていくスタイルでした。もう1人は、自由で、私はノートを作って勉強していました。單元ごとにテストがあり、テストは暗記というよりも理解をしているかが試されていました。特に学年末テストは難しく、基本的に知っている内容の実験は出題されず、自分の知識と問題で問われている内容を結びつけて、回答していく形式でした。

Physical Educationには3人の先生がおり、4つ別分野の授業がありました。それぞれ、Sociology、Coaching、Biomechanicsで、Biomechanicsの中にmechanicsとbiologyがあります。CoachingではEver learnerというウェブサイトがあり、そこで毎週動画をみる課題がでていて、教科書に沿って勉強し、授業ではそれを確認するというスタイルでやっていました。Sociologyでは基本的に動画や映画をみて、実際の例を学びました。例えば、歴史をやっていたら、それを映像化したネットフリックスを見たり、過去の動画などをみて、イメージをつかみつつ、記述問題に取り組んでいました。Biomechanicsでは、人体の構造や筋肉の働きを学ぶBiologyの面と、ニュートンの法則を学んで、それをスポーツに適用させたりするmechanicsの面があります。どちらも同じ先生で、最初は紙のノートにメモをとっていましたが、途中からパソコンのOne noteにメモをとるようになりました。

Extended Project Qualification (EPQ)は5000ワードの論文を2学期間かけて行う授業です。基本的に自己作業ですが、Tutorと週一回会う機会があり、そこで質問をしたり、調整を行ったりしました。

全体として、1クラス大体10人と小規模で、電子機器を使うのが当たり前の授業が主流でした。そこは日本とやはり違う授業スタイルだなと思いました。また、授業で休んだりした時は自分でそれぞれの担当の教科の先生にメールでやりとりするのが印象的でした。個人的な先生とのやりとりが多いイメージが強かったです。

今後の派遣留学生へのアドバイス

渡航前に日本で学習しておいた方がよいことや、用意しておいた方がよいことがあれば教えてください。

自分の得意なもので、留学先でもできることを用意していくことが大切だと思います。やはり、言語の壁だけではなく、新しい環境に飛び込むため、最初の1ヶ月は特に沢山の挑戦が待っています。その中でも、自分が自分でいられる環境や分野が一つでもあれば、自信に繋がり、他の心許ない挑戦も乗り越えていくことができます。どんなことでもいいので、自分が好きで得意なものを用意しておいてください。

また、英語に関して心配する方が多いと思います。英語の勉強をして準備することはとても大切です

が、結局、留学先にいくこと以上に勉強になることはないと思います。それに関してはもう心配しすぎず、なるようになる精神も大切だと思います。

日本で学習しておいた方がいいことは、イギリスの地理です。どんな先生も、生徒も、自分の地元の地名だったり、場所を知っていたり、興味を持ってくれる人に対しては優しいです。イギリスが4つの国からできている特殊な国だからこそ、その事前知識をなんとなく知っておくと、最初に友達が作りやすくなると思います。イギリス国内からだけではなく、ドイツからの留学生や、香港、中国、ロシア、スペイン、ケニアなどからも生徒が訪れているので、地理は大事です。アフリカからの生徒もいて、ちょっとした植民地の歴史や背景などを知ると面白いと思います。

